

第 388 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 5 年 2 月 7 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] PERKY SOUND FLASH
[放送日時] 令和 5 年 1 月 7 日(土)
9:00～9:55
[出演者] 牧村一穂
4. 出席者 [委員] 委員長代理 服部乃利子 副委員長 角田哲康
委員 小野晃司
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明
5. 事務局報告 ○ K-mix の現状に関する報告
6. 番組審議 [対象番組] PERKY SOUND FLASH
[放送日時] 令和 5 年 1 月 7 日(土)
9:00～9:55
[出演者] 牧村一穂
[番組内容] 週末の入り口である土曜日の朝。
1 日を爽やかにスタートできるように、素敵な音楽と
トークでヒゲート。入社 1 年目のパーソナリティー・牧村一穂が
フレッシュな朝を演出。時には、旬な農産物をはじめとする
おトクな情報もお届け。皆の週末を彩る番組。

[聴取・合評での主な意見]

小野委員

パーソナリティー 1 年目ということを前提にして聴くと、非常に良い。自分は、「話す内容が決まっている (シリアス)」部分と、「自分の言葉でトークする (アドリブ)」部分をどう扱っているかで、トークを聴いているが、資質は高いと思う。インタビュー対象や、聴取者の発言 (メッセージ) に対する姿勢が良く、自分の想定と違う反応が来ても、違和感なく進めて行けている。「間」やコーナー間のつながりも良い。声質は、いい意味で、死がなく、いわゆる明るいパーソナリティーが持つ「基本に忠実な正攻法」で、十分に効果をあげているのではないかと感じた。

角田副委員長

いい意味で、アウンサーとは一線を画す「声質」が良い。声質も含めて牧村らしさという点をこの後も続けて行き、現在持っているの独特な雰囲気を保って行ってほしい。番組に関しては、生放送感を出し、『今』を伝える演出があっても良いのではないかと思われる。全体的に曲の連続が多いが、その中で、牧村ならではの、曲についての「感想」「主観的なコメント」を出してみてもどうか。 「生放送で聴いて下さっている聴取者を意識」することがもう少し必要なのではないだろうか。

服部委員長代理

土曜日の朝の時間帯の放送のため、幅広い聴取者層を想定していたが、番組に寄せられたメッセージから、彼女がすでにいろいろな世代の聴取者から支持されていることがわかった。牧村の声は、ちょっと幼さを感じるような可愛らしさで、滑舌も良く、聴きやすい。1回目ということもあり、番組の前半は緊張が感じられたが、後半の聴取者のメッセージ紹介の辺りから、リラックスして来て、声も柔らかく、いい雰囲気とスムーズな話しぶりだった。選曲も休日の朝に聞き流せる様な爽やかなイメージを抱かせてくれた。初回として、全体的に順調に進行できていたと思われる。

会社サイド

今回、番組を担当するにあたって、牧村には、自分の声をしっかりと意識しながら、少し、速度を落として、柔らかく、静かな感じを意識してみるように、助言したが、現在のK-mixの自社内の女性パーソナリティーも3人の個性が出揃ってきたので、今後とも、上手に個性を伸ばして行きたいと思います。

次回開催日 令和5年3月7日(火) 11:00~13:00を予定

以上

番組審議会委員長代理

服部乃利子